

城下こうさくメルマガ登録開始! ご登録をお待ちしております。

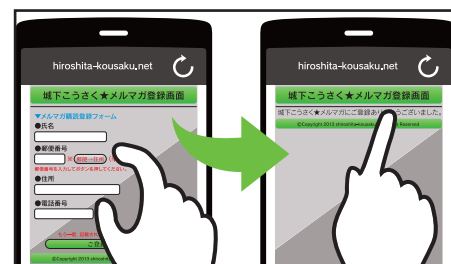
●空メールによる「城下こうさくメルマガ登録方法」についてご説明します。



①まず、QRコードを読み取って、記載されたアドレスに空メールを送ってください。



②次に折り返し、ご登録者様宛に本登録をお願いするメールが届きます。



③そのメールに記載されたメルマガ本登録サイトにアクセスして、本登録してください。



④ご登録者様宛に、メルマガ登録サイトから本登録完了のメールが届きます。



⑤これら①～④の手順に従って、本登録完了のメールが届いたら、メルマガ登録が完了となります。

※ガラ携もやり方は同じです。
①～④の手順に沿って、仮登録から本登録まで終了してください。
下記のQRコードからどうぞ!



城下こうさくホームページのご案内!

皆さまの熊本県政へのご要望・ご意見を心よりお待ちしております。

●熊本県議会議員《熊本市第一選挙区》
城下こうさく 熊本県議会議員・城下こうさく
Shiroshita Kousaku

●ホットライン
TEL 090-8661-7722
お気軽にご相談ください。

プロフィール PROFILE | 政策 POLICY | 活動報告 ACTIVITY REPORT | 県議会通信 COUNCIL NEWS | 本会議会議録 COUNCIL PROCEEDING

常に全力投球です!

活動報告 RSS

いよいよ明日、代表質問
2015年9月16日 活動報告
明日9月17日、午前10時から私が県議会で代表質問を行います。本日の県議会で蒲島知事が3選出

熊本県 NEW KOMETO 公明党

●ホットライン《お気軽にご相談ください》
県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722
●ホームページ <http://www.shiroshita-kousaku.net/>
●メール shiroshita@kumamoto-komei.net



しろしたこうさく 城下広作 県政報告誌

県民の身近な代弁者
熊本県議会議員
熊本市第1選挙区選出
熊本県庁
〒862-8570
熊本市水前寺6-18-1
Tel.096-333-2645
Fax.096-385-9767

県民の身近な代弁者

2017年 3月発行

第79号

ご挨拶



▲(写真)3月3日の県議会代表質問
質問項目は次ページに掲載しています。

早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて、2月議会も2月21日から3月17日の日程で終了致しました。今日、熊本地震の復旧・復興はまだまだ始まったばかりで、その過程で様々な問題も抱えている現状にあります。そこで、今議会での私の代表質問は震災よりおよそ1年目を迎えるに当たり、今やるべきことを私なりの視点で質問致しました。詳細は後日の議事録をご覧ください。

謹白

平成29年3月吉日

県議会議員(会派公明党) 城下広作

教育警察常任委員会での発言。「熊本北合志署」の名称について!!



3月13日、教育警察常任委員会が開催され、議案の中に新警察署の名称について提案がありました。内容は、熊本市の北区内にできる新署の名前を「熊本北合志署」にする案で、それに伴い現在熊本市中央区にある北署の名称を中央署にするという内容でした。私は、新署となる「熊本北合志署」の名称決定についての理由を伺い、県警の答弁としては、通常は管轄区域内の主要な市区町村の名称を用いるが、いずれかの市町村によりがたいなど、特別な事情がある場合には、今回の名称の用いられ方もありえとの答弁でした。



有明海・八代海再生及び地球温暖化対策特別委員会 選挙制度改革特別委員会

3月10日、上記の特別委員会が行われ、この委員会の課題の一つに有明海・八代海の水質汚染の改善がありますが、私は会あるごとに、ヘドロの除去が一番と訴えています。

3月8日、県議会議員の総定数及びそれに伴う各選挙区の定数の見直しについて協議し、今回は、総定数の考え方を各会派が持ち帰り、6月議会で検討することになりました。

雲仙普賢岳噴火から今年6月3日で23年目、現状を視察!!



▲土石流が堆積した民家を遺構として保存

2月22日、島原市の教育委員会を訪問、雲仙普賢岳噴火から今日まで、特に児童生徒に対する防災教育の対応について調査をさせて頂きました。島原市では、6月3日を決して忘れないとの思いから、毎年この日を軸に被災後作成した防災の副読本を



▲焼失した消防団詰所と消防車とパトカー

参考に防災について学び合っていました。その後、火砕流や土石流で埋め尽くされた民家の遺構を保存した記念館を訪問、次に、住民に避難を呼びかけ犠牲になった地元消防団の消失した詰所跡を訪問、遺構の重要性を認識しました。



県環境整備事業協同組合総会 県環境技術協議会定期総会



▲通常総会懇親会での挨拶
係者から大変感謝されています。

2月22日、熊本市内で毎年開催の通常総会が行われました。貴団体は昨年の震災の際、県下の組合員の協力を得ながら、被災地の浄化槽の管理に尽力され、関係者から大変感謝されています。



▲毎月の定期総会での挨拶
力を頂きました。大変感謝されています。

3月22日、同協議会の事務所で毎月の定期総会に参加、挨拶をさせて頂きました。貴団体も昨年の震災では、組合員一丸となって、私達住民の衛生管理に多大な尽力を頂きました。大変感謝されています。

熊本西環状道路開通式(花園IC~下硯川IC)に参加。渋滞緩和に期待!!



▲熊本市立北部中での開通式とセレモニー会場の模様

私もこの地域に近かったことから県議会でも早期完成の立場から質問をさせて頂きました。今後は、砂原ICまでの完成、中九州横断道路の接続に向け早期完成を訴えて参ります。



3月26日、熊本市北区の熊本市立北部中学校体育館で、地域高規格道路・熊本西環状道路(花園IC~下硯川IC)の開通式が行われ、ご案内を受け参加しました。この道路の完成を受け特に植木町から熊本市内中心部に掛け慢性的な渋滞解消に少しでも効果が発揮できればと期待が寄せられています。この道路の整備に当たっては、

井上・漆原衆議員議員、熊本城・益城町テクノ仮設住宅等を視察!!



▲熊本城内の建物・石積等の被災状況を視察

2月26日、井上・漆原両衆議院議員と県議団3名で熊本城内を視察、壊れた石積、建物を見るたびに、大きなため息が出ました。両衆議院議員も改めて熊本城の規模の大きさ、そして、被害の大きさにも驚かれました。そこで、熊本城の復興の重要性も



▲益城町役場・テクノ団地での意見交換

理解して頂きました。その後、益城町へ移動し、役場では、町長と議長等を交え震災以降の対応、今後の課題等について意見交換を行い、次にテクノ仮設住宅を訪問、店舗の視察後、みんなの家で住民の方と意見交換会を行いました。



小・中・高等学校の卒業式に参加!それぞれの卒業式に感動!!



▲県立牛深高校閉校式での挨拶



▲熊本市立白川中学の卒業式

3月1日、県立牛深高校の卒業式とその後行われた閉講式に参加しました。県立河浦高校との統合により最後の卒業生になりました。また、3月4日には県立湧伸館定時制高校の卒業式に、11日には熊本市立白川中学校、23日には、熊本市立大江小学校の卒業式に参加、それぞれの卒業式に感動しました。

阿蘇火口視察!早急な安全対策をとり一日も早い火口見学の実現を!!



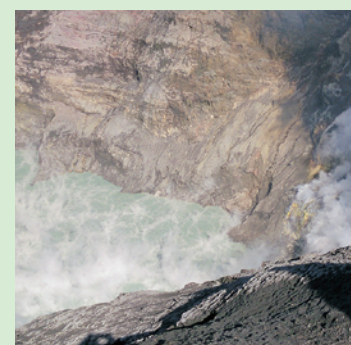
▲阿蘇山上ロープウェイの外観と屋内の様子

3月12日、噴火警戒レベル1となった阿蘇火口山上に阿蘇市長始め関係職員の皆様、超党派の県議6名、地元市議会議員を交え視察に行きました。先ず、登頂に当たってはガスマスク、ヘルメットを着用し、案内者である阿蘇火口監視員の方はガス検知器を携帯しての案内でした。山頂にあるロープウェイの



▲山上の退避壕と火口内の湯だまりの様子

建屋付近では当初1メートルをはるかに超える火山灰があったそうですが、当日はほぼ除去されていました。山頂から火口の中を覗き込むと、緑がかった湯だまりが湧き出るような様子を拝見、この光景を多くの観光客にみて頂けるよう早急な対応が必要と訴えました。



3月議会の代表質問項目



1. 震災復興に向けた中長期的な取り組みについて.....(知事)

- (1)震災後の経済の持続的な発展
- (2)若者の県外流出の歯止め

2. 熊本地震の記憶の伝承について.....(知事)

- (1)熊本地震の節目の日
- (2)追悼・鎮魂の場としての震災遺構のあり方

3. 防災教育と教職員の災害時対応のあり方について.....(教育長)

- (1)未来への教訓を織り込んだ副読本の作成
- (2)教職員のレベルアップと体制の強化

4. 大空港構想Next Stageと交通アクセスについて.....(知事)

- (1)空港ターミナルビルの建て替え等のスケジュール
- (2)JR豊肥本線と南阿蘇鉄道の復旧
- (3)県道熊本高森線の4車線化
- (4)熊本市市民病院の建設や市電の延伸による渋滞の影響等

5. 八代港の整備について.....(土木部長)

- (1)岸壁整備の事業規模とクルーズ船の寄港見込み
- (2)旅客ターミナル周辺の観光拠点化
- (3)既存事業者への対応

6. 来熊客のおもてなしについて

- (1)熊本駅におけるスムーズな誘導の取り組み.....(土木部長)
- (2)多言語による案内とフリーWi-Fiの整備充実.....(商工観光労働部長)
- (3)FIT(海外個人旅行)の誘客対策.....(商工観光労働部長)

7. 災害に強い道路整備について.....(土木部長)

- (1)無電柱化に向けた取り組み
- (2)空洞調査への認識と今後の取り組み

8. 空き家対策と新たな制度への対応について.....(土木部長)

- (1)空き家対策の重要性の認識
- (2)新たな制度による被災者支援

9. 医療体制について.....(知事)

- (1)地域医療構想
- (2)救急医療
- (3)感染症対策

10. 障がい者の在宅就業支援について.....(健康福祉部長)

11. 熊本地震における支援物資の対応について.....(健康福祉部長)

2月議会、代表質問を受けて、各新聞社の反応!!(パート1)

●参考資料：読売新聞H29.3.4

熊本地震を受け、熊本県教育委員会は3日、県内の小中高校など公立の全471校（政令市の熊本市を除く）で学校の防災に中心的な役割を担う「防災主任」の教職員を配置することを明らかにした。防災教育の充実や地域との連携強化に取り組み、防災力の強化を図る。

県教委によると、防災主任は教職員の中から選ばれ、主任は県教委などが実施する研修を受け、各校の防災マニュアルや避難計画、訓練計画などの策定を主導する。授業中に大規模災害が発生するなど、様々なケースに迅速に対応できるようにする。

県教委配置へ

月から住民や保護者が学校運営に関わる「コミュニティスクール」を導入。会合に防災主任が出席し、学校が避難所になった際の対応などについて住民と調整するという。

避難計画 策定主導

避難計画の事例などをまとめた教員向けの手引書を作成する予定。避難所での家族や住民の助け合いなどをテーマとする小中学生向け副読本もつくり、防災教育に活用する方針だ。

防災主任は東日本大震災の教訓を受け、宮城県教委や宮崎県教委が12年度、小中学校や高校で導入。だが、配置している自治体はまだ少ないという。

●参考資料：朝日新聞H29.3.4

大津―立野間を優先復旧へ
JR豊肥線、知事「今月着工」
浦島郁夫知事は3日、熊本地震の影響で不通になっているJR豊肥線の肥後大津―阿蘇間のうち、大津―立野間を優先して復旧させる方向でJR九州と協議していることを明らかにした。

この日の県議会代表質問で、城下広作議員（公明）の質問に対し、「JRとは定期的に協議しており、3月中に県の治山工事の一部を着工する」と答えた。

JRによると、大津―立野間は地震や豪雨による土砂崩れで被害を受けた。県が周辺の斜面などの安全対策をした後、JRが本格的な線路の復旧作業に入る。開通時期は不明。一方、立野―阿蘇間は阿蘇大橋などを崩落させた大規模な土砂崩れからの復旧のめどが立たず、見通せていない。

（大畑滋生）

●参考資料：公明新聞H29.3.4



城下議員

震災遺構で教訓を後世に
熊本県議会
で城下議員
防災教育副読本の作成も
熊本県議会は3日、2月定例会の本会議を開き、代表質問に立った公明党の城下議員は、熊本地震の経験や教訓を後世に伝え残すため、犠牲者の追悼・鎮魂の場としての震災遺構の保存とともに、児童・生徒向けの防災教育副読本の作成を求めた。

城下議員は、東日本大震災の記憶を今に伝える岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」などの震災遺構に触れ、「雲仙普賢岳（長崎県）の大噴火でも焼けた消防車が保存され、今も鎮魂の場として慰霊祭が行われている」と説明。防災教育や観

光拠点としても期待されることから「地元の共感を得ながら、復旧・復興の過程で断層などを保存すべき」と訴えた。

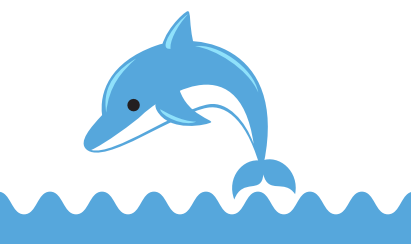
浦島郁夫知事は、「来年度から検討会議を設け、研究していく」と述べ、宮尾千加子教育長は「防災教育の手引きや他者に寄り添う心を育成するための副読本を作成する」と答えた。

2月議会、代表質問を受けて、各新聞社の反応!!(パート2)

●参考資料:熊日新聞H29.3.4



ロイヤル・カリビアン・クルーズが運航する大型クルーズ船が入港した八代港。今年1月、八代市



八代港は1月末に国の「国際クルーズ拠点」に選ばれており、専用岸壁は20年3月末までに整備する計画。この間に、県と連携する米国のロイヤル・カリビアン・クルーズ社が岸壁近くに商業施設を含む旅客ターミナルを整備し、岸壁は同社が優先的に使用する。答弁では、クルーズ船寄港による県の収入の試算も公表。県が19年の目標値として掲げる70隻(16万ト級)が寄港した場合、岸壁使用料は年間6千万円、同社が建設する旅客ターミナルの県有地4千平方メートルの使用料は年間220万円とした。(田上二平)

県は3日、国が2017年度にも直轄事業で着工する八代港(八代市)のクルーズ船専用岸壁の整備費が総額82億円に上るとの見通しを明らかにした。県の負担額は3割の25億円程度になる。

八代港 岸壁整備82億円

クルーズ船用 県負担は3割25億円

同日の県議会代表質問で、公明党の城下広作氏(熊本市1区)に手島健司土木部長が答えた。県は17年度分の負担金として一般会計当初予算案に15億2900万円を計上している。

今回の2月議会の代表質問は、昨年4月14日の震災以降に開催された6月議会に続いての質問でした。前回は震災直後の被災者への支援の在り方を中心に質問を行い、今回は、その後の復旧・復興について、県が掲げる「創造的復興」に間違いなくつながっているのか、また、やるべき事業がなされているのかの視点を持って質問しました。まだやりたい質問もありましたが、次回は、12月議会の予定です。今から、課題を見つけます。



●参考資料:熊日新聞H29.3.3

2月定例県議会は3日、代表質問を続開。第3会派の公明党県議団(3人)の代表が登壇する。持ち時間は執行部の答弁も含めて100分。一般質問も始まる。時間は60分。質問者と主な質問項目は次の通り。

【代表質問】◎城下広作氏(公明)熊本市1区▽震災復興に向けた中長期的な取り組み▽熊本地震の記憶の伝承▽大空港構想と交通アクセス▽熊本地震における支援物資対応

【一般質問】◎岩田智子氏(民選ク)同▽県民の防災意識向上▽県立高校の再編問題▽教職員待遇の改善

県議会質問 3日

各新聞社の反応!!(パート2)

●参考資料:熊日新聞H29.3.4

県議会
ウオッチ

3日の県議会代表質問で、公明党県議団の城下広作氏(熊本市1区)が熊本市電の延伸や県道熊本高森線の4車線化を巡り、「県と熊本市、益城町は連携不足だ」と指摘した。

城下氏は、市電を県道熊本高森線で益城町へ延伸するこれまでの議論について、軌道を通すための道路拡幅が問題になってきたと指摘。熊本地震

市電延伸や県道4車線化

後の「創造的復興」で県道熊本高森線の4車線化が決まり、「県と熊本市、益城町の3者で延伸について協議する良い機会だ」と提案した。

これに対し、蒲島郁夫知事は昨年3月に熊本市などと共同で策定した熊本市圏の都市交通マスタープランで「益城・熊本方面への市電延伸が提案されている」と答弁。ただ、城下氏が求めた協議については、「延伸が検討される場合」という条件付きで、「関係市町村と十分に意見交換する」とした。

城下氏は、熊本市が2015年から検討している健康増進電停から第二空

県がリーダーシップを

港線への市電延伸ルートについても質問。「市はこのルートの近くに市民病院の移転を計画しているが、周辺は慢性的な渋滞場所。対策について県は市と事前に協議したのか」と追及した。

蒲島知事は「第二空港線は熊本空港への主要なアクセスルート」としつつ、「熊本市などと協議するが、渋滞対策は事業主体である熊本市が講じる」と距離を置いた。

県道4車線化や市電延伸、さらに空港へのアクセスは、熊本市圏交通のグランドデザインという大きな枠組みの中で有機的に連携させるべき事業。広域自治体である県



熊本空港へのアクセスと熊本市圏交通網

熊本地震

熊本地震の「節目の日」はいつなのか。3日の県議会代表質問で公明党の城下広作氏(熊本市1区)が、蒲島郁夫知事にこんな質問をぶつけた。

同地震は、昨年4月14日と16

4月14日と16日

「節目の日」はいつ?

日に最大震度7の揺れが県内を襲った。県は今年4月7・23日を「復興祈念ウィーク」と位置付け、14日に犠牲者追悼式、16日にシンポジウムを開く。一方、より大きな被害が出た16日に追悼行事を予定する市町村も多い。

城下氏の問題提起に、蒲島知事は「多くの貴重な命を奪い、県民生活を根底から覆した、いずれも決して忘れてはならない重

●参考資料:熊日新聞H29.3.4

要な日」と答弁。記憶や経験の伝承に力を注ぐ考えを示した。ただ、「経験の伝承」に行政が果たす役割は、東日本大震災の被災地などでも課題という。終了後、城下氏は「節目の考え方をもっと明確にしないと、世代を超えて行政が伝える力はいずれ弱まる」と危惧した。(並松昭光)